

取り付け方法 取り付け業者様へ

⚠ 警告

取り付け・取り扱いについては、「取り付け作業をする前に」、「取り扱いに関して」をよくお読みいただき、安全に正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所、取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり大変危険です。

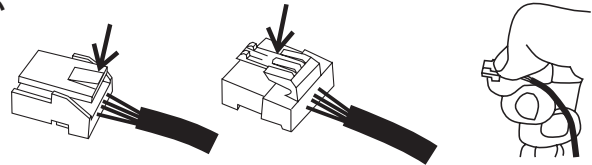
⚠ 注意

取り付け・取り扱いについては、Defi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)の取扱説明書も併せてご覧ください。また、電源・信号の配線については取り付けマニュアルやWebサイトの接続ガイドを併せてご覧ください。

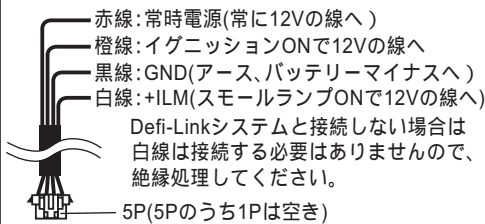
ステップ1 電源・信号・LINKの配線

⚠ 注意

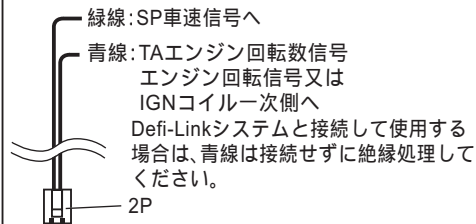
無理にコネクタを引っ張ると、断線したりコネクタが破損する恐れがあります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながらかいてください。また、コネクタによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。



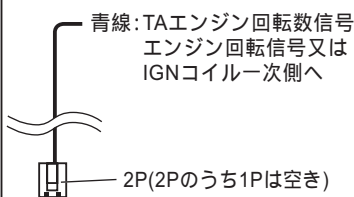
【図A-1】電源ハーネス(75cm)



【図A-2】車速・エンジン回転数信号ハーネス(2m)



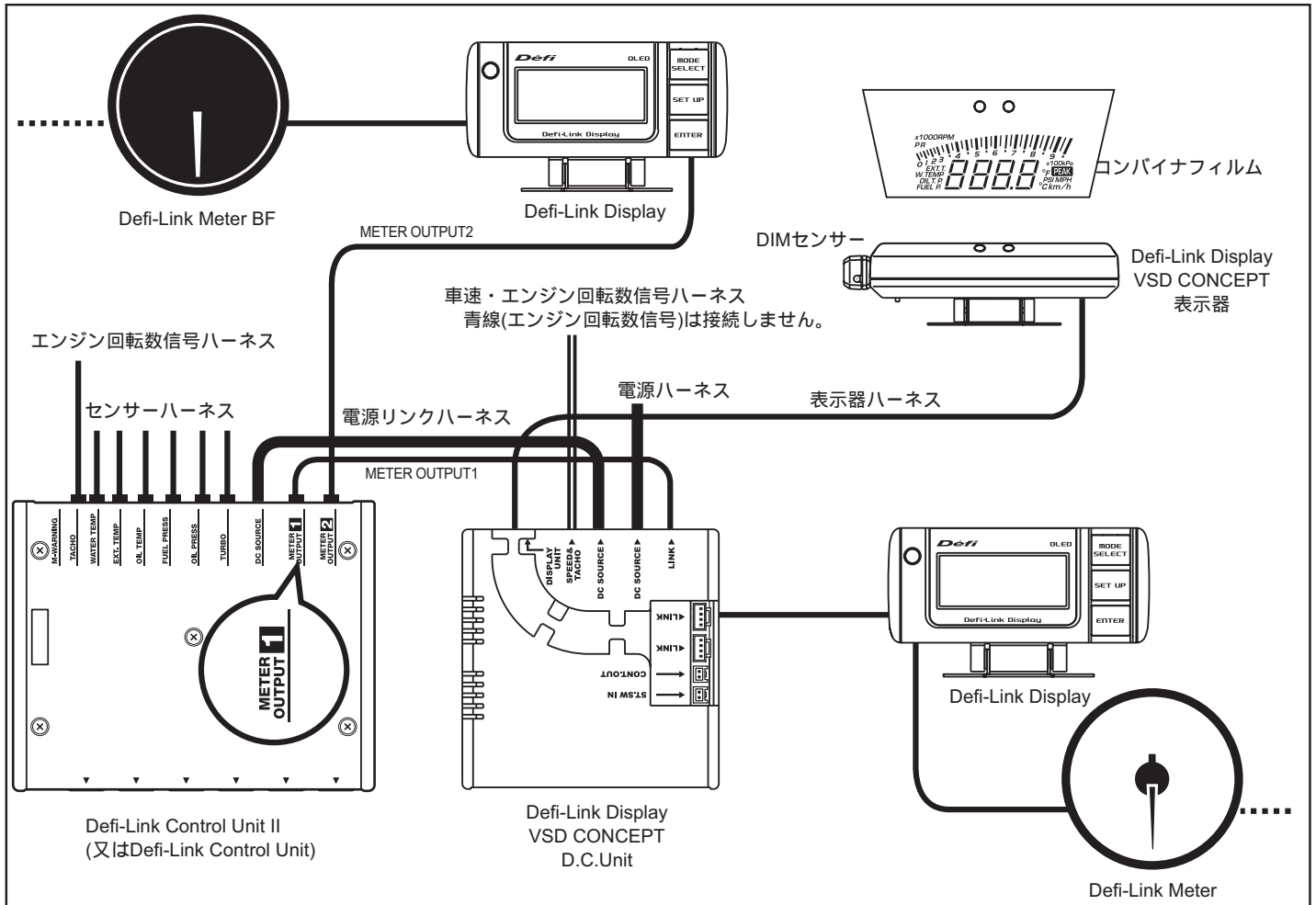
【図A-3】エンジン回転数信号ハーネス(2m)



【Defi-Linkシステムにリンクしてご使用の場合（LINK・電源・信号の配線）】

既にDefi-Linkシステムを使用している（電源が配線されている）ことが前提です。

【Defi-LinkシステムとDefi-Link Display VSD CONCEPT 構成図】



- 1 : Defi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)から電源ハーネスを一旦外します。
- 2 : 外した電源ハーネスをDefi-Link Display VSD CONCEPTのD.C.UnitのDC SOURCEに接続します。
D.C.UnitのDC SOURCEは2箇所ありますが、どちらに接続しても構いません。
- 3 : 付属の電源リンクハーネスで、Defi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)とD.C.UnitのDC SOURCEを接続します。
- 4 : Defi-Link Control Unit IIのMETER OUTPUT 1 (又はDefi-Link Control UnitのMETER)にメーターハーネスを接続している場合は、メーターハーネスを一旦外します。(Defi-Link Control Unit IIのMETER OUTPUT 2のみを使用している場合は6へ進んでください。)
- 5 : 外したメーターハーネスをD.C. UnitのLINKに接続します。
D.C.UnitにはLINKが3箇所ありますが、どこに接続しても構いません。
- 6 : 付属のメーターハーネスを使用し、Defi-Link Control Unit IIのMETER OUTPUT 1とD.C.UnitのLINK(Defi-Link Control Unitの場合はMETERとD.C.UnitのLINK)を接続します。
D.C.UnitにはLINKが3箇所ありますが、どこに接続しても構いません。
- 7 : 付属のエンジン回転数信号ハーネス(青線 2m : 図A-3)をエンジンコンピューター (ECU)のエンジン回転数信号線に付属のエレクトロタップを使用し接続します。(既にDefi-Link Control Unit II 又はDefi-Link Control Unitに青線がつながっている場合は接続不要です。青線の配線はそのままにして9へ進んでください。)
- 8 : 7で接続したエンジン回転数信号ハーネスをDefi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)のTACHOに接続します。
Defi-LinkシステムとDefi-Link Display VSD CONCEPTをリンクして使用する場合、エンジン回転数信号ハーネス(青線)は必ずDefi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)のTACHOに接続します。青線をD.C.Unitのみに接続しても、Defi-Link Display VSD CONCEPTにエンジン回転数は表示されません。
- 9 : 付属の車速・エンジン回転数信号ハーネスの緑線(車速信号)のみをエンジンコンピューター (ECU)の車速信号線に付属のエレクトロタップを使用し接続します。
車速・エンジン回転数信号ハーネスの青線は接続する必要はありません。絶縁処理後、運転の妨げにならないようにまとめてください。(図A-2)
- 10 : 9で接続した車速・エンジン回転数信号ハーネスをD.C.UnitのSPEED & TACHOに接続します。

ステップ2 電源・信号・LINKの配線の確認

- 1 : Defi-Link Display VSD CONCEPTの表示器ハーネスをD.C.UnitのDISPLAY UNITに接続します。
- 2 : 再度配線が正しくされているか確認します。
- 3 : 車両の電源を入れ、表示が出るかどうか確認します。(反転した状態で表示器に表示されます。)
- 4 : 3で表示が出た場合は次のステップへ、表示されない場合はステップ1へ戻り再度配線をご確認ください。

ステップ3 表示器・DIMセンサーの取り付け

警告

誤って取り付けした場合、本製品の脱落や車両破損の原因・運転の妨げとなり大変危険ですので、以下のことを守ってください。

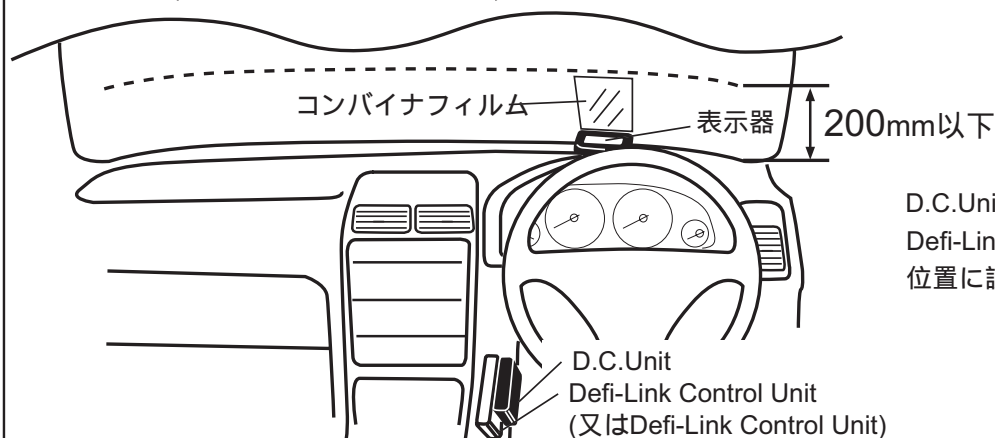
- ・表示部のお取り付けは、運転の妨げにならない位置へお取り付けください。
- ・運転中に各ユニットがはずれないように確実に貼り付けてください。

表示器を取り付ける際は、表示を映す位置をお客様に確認していただき、フロントガラス下部200mmの幅の範囲内に表示が出るように取り付けてください。また、運転の妨げにならない位置へお取り付けください。

確認

真夏の炎天下に車を放置する場合は、表示器に白い布等をかけていただくと、表示器の劣化防止になります。両面テープで貼り付けるときは、貼り付ける場所のゴミ、油分、水分をきれいに拭き取ってからご使用ください。

取り付け例(コンバイナフィルム付加例)



D.C.Unit及びDefi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)は直射日光の当たる位置に設置しないでください。

- 1 : プラスドライバーを使用し、取付台Aと表示器を仮締めします。(図B-1)

取付台Aに裏表の区別はありません。また、前後どちらの向きでも取り付けできますので、表示がよりはっきり映る角度を探し、取り付け方向を決めてください。

- 2 : 六角レンチを使用し、取付台Bと表示器の角度の調整を行い仮締めします。(図B-2)

- 3 : フロントガラスに表示を映しながら、表示がよりはっきり映るように取付台の位置、角度(回転方向、上下角度)を決め、取付台Aのみ本締めします。

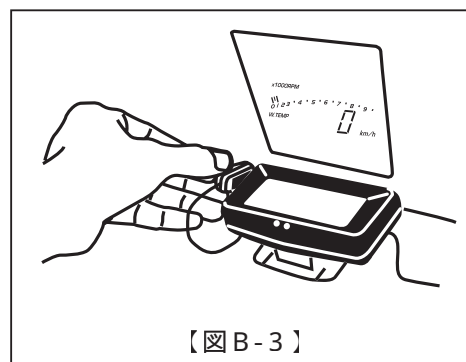
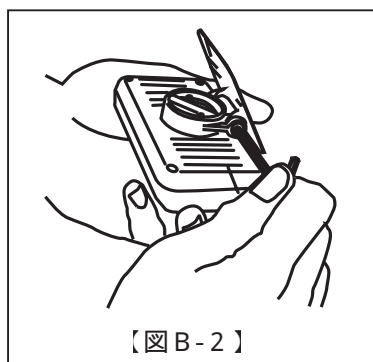
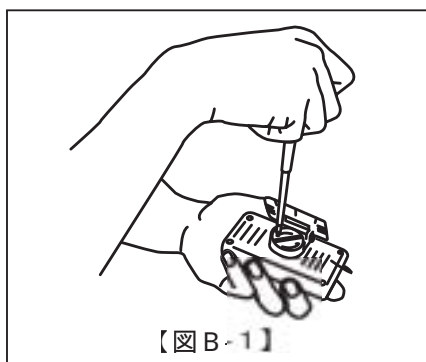
- 4 : DIMセンサーを表示器の裏側にあるDIMセンサー接続用コネクタに差し込みます。

- 5 : 表示器を取付台Bから一旦取り外し、取付台Bの裏面に付属の両面テープを貼り付け、取り付けたい場所の形状にあわせて取付台Bを曲げて貼り付けます。その後、脱落しないように市販のタッピンネジで取付台Bを固定します。

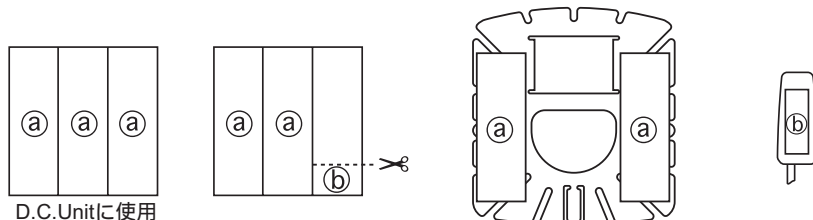
- 6 : 取付台Bに表示器をはめ込み、六角レンチで本締めします。

- 7 : DIMセンサーの裏側に両面テープを貼り、進行方向に向けて表示器の側面に固定します。(図B-3)

水平前方向がワイパーなどでさえぎられない位置に固定してください。



付属の両面テープ ①の3枚をD.C.Unitに、2枚は下図のように取付台Bに、②はDIMセンサーに貼り付け使用します。



製品の配線、固定が完了しましたら、車両ごとの設定・各機能の設定を行います。裏面のご使用方法を参照ください。また、パッケージ内側にクイック解説表があります。切り取ってご覧になると便利です。

コンバイナフィルムを貼り付ける方へ

⚠ 警告

付属品のコンバイナフィルムは、クローズドコース(サーキット)専用です。表示をより見易くする際にご使用ください。コンバイナフィルムを貼り付けたことにより、フロントガラスの可視光線透過率が70%以下となるため、車両検査等ではがされず。クローズドコース以外で使用した場合に発生したトラブルに関しては、弊社は一切責任を負いません。

- 1 : ガラスクリーナー等でフロントガラスを拭き、汚れやくもりを落とします。
- 2 : フロントガラス下部200mm内でコンバイナフィルムを貼り付ける位置を決定します。フィルムは縦長の方向にフロントガラスに当て、フィルムの隅に合わせてフロントガラスに粘着テープ等で印をつけます。
- 3 : 粘着テープを用い、右図のようにコンバイナフィルムからセパレーターをはがします。
- 4 : 水(100ml ~ 150ml)に中性洗剤(1 ~ 2滴)を混合した液を、霧吹きなどでフィルム両面とフロントガラスに多めにスプレーし、先程つけた粘着テープの印に合わせてフィルムを貼り付けます。
表示器やインパネに水が掛からないようにタオル等で覆って作業してください。
- 5 : 余分な空気、水分をゴムベラ等で取り除きます。
市販のフィルム貼り用ゴムベラを使用し、一定方向に水分を押し出すようにするときれいに貼れます。

